

欧州自動車産業ニュース

No. 921

2024年3月1日号

使用済みタイヤのリサイクル工場建設 ミシュラン出資の合併、スウェーデンに

独シェフラー、米国に新工場を建設

「H2Uri」、ルツェルン湖で水素を燃料とする旅客船運行

独オスナブリュック、燃料電池搭載の廃棄物収集車を試験導入

© European Community

* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

1. 本誌の使用は、お申込み登録いただいた住所の事業所内及びE-Mailアドレスに限り、他への配布・回覧・転送を固く禁じます。
2. 本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M. (Germany)
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <http://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

英乗用車生産、1月は21.0%増加 4

企業情報

自動車メーカー

ステランティスがDSにチャットGPTを標準装備、日本含む18カ国で 5

プジョー、チャットGPT導入試験のドライバーを1万人に拡大 5

ダイムラー、メルセデスベンツの接続バス「eシタロ・Gフューエルセル」を業界会議に出展 6

部品メーカー

ミシュランなど、スウェーデンに使用済みタイヤのリサイクル工場建設 6

独シェフラー、米国に新工場を建設 7

蘭ヒア、港湾運営最大手PSAに位置情報サービスを提供 7

SSABとフィンランドのVR、重量物輸送に大型電気トラックを導入 8

スペインのアントリン、データ利用の研究事業「ESPADIN」に参加 8

クローズアップ

GENESIS 9

欧州自動車短信

クアントロン、ライトバス、ロイズ・レジスター 10

一般・その他

フォンデアライエン欧州委員長、続投の意向を表明	11
EUがロシアへの追加制裁決定、中国企業なども対象に	12
EUのマネロン対策庁、フランクフルトに設置	12

テクノロジー・トレンド

スイスのプロジェクト「H2Uri」、ルツェルン湖で水素を燃料とする旅客船を運行	13
独オスナブリュック、燃料電池を搭載した廃棄物収集車を試験導入	14

目で見える欧州自動車産業ニュース

ギリシャ新車登録台数:2023年	15~16
------------------------	-------

企業名索引.....14

欧州経済を伝える



FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取り組みたいと考えております。
お気づきの点や率直なご意見・ご感想など、弊社カスタマーサポートまで
ぜひお気軽にお寄せください。

< FBCカスタマーサポート >

Tel : +49-(0)69-5480950 Email: info@fbc.de

FBC Business Consulting GmbH
August-Schanz-Str.8, 60433 Frankfurt/M/Germany

<http://www.fbc.de>

総合

英乗用車生産、1月は21.0%増加

英自動車工業会（SMMT）は2月29日、同国の2024年1月の乗用車生産が前年同月比21.0%増の8万2,997台に拡大したと発表した。

内訳は、輸出が前年同月比11.6%増の6万2,938台で、全体の75.8%を占めた。国内向けは前年同月比64.5%増の2万5,997台と、大幅な2ケタの増加率だった。

輸出のうち、欧州連合（EU）向けが53.2%を占めている。以下、米国（15.0%）、中国（10.5%）、日本（2.8%）、オーストラリア（2.3%）が続いた。

電動車（純電気自動車、プラグインハイブリッド車、ハイブリッド車）の生産は、前年同月比4.5%増の2万9,590台で、1月の乗用車生産の35.7%を占めている。

■ 商用車生産、1月は26.9%増加

SMMTによると、同国の1月の商用車生産は、前年同月比26.9%増の1万1,756台だった。これは2008年1月（2万840台）以降で過去最高の水準であり、パンデミック前の2019年1月を28.0%上回る。

1月の商用車生産のうち、輸出が前年同月比49.8%増の7,965台と好調だった。輸出のうち、EU向けが97.4%を占めている。国内向けは3,791台で、前年同月を4.0%下回った。

英国、自動車生産：乗用車 2024年			
	1月		
	2023年	2024年	変動率
合計	68,575	82,997	21.0%
国内向け	12,196	20,059	64.5%
輸出	56,379	62,938	11.6%
輸出比率	82.2%	75.8%	
出所：英自動車工業会（SMMT）			

英国、自動車生産：商用車 2024年			
	1月		
	2023年	2024年	変動率
合計	9,263	11,756	26.9%
国内向け	3,947	3,791	-4.0%
輸出	5,316	7,965	49.8%
輸出比率	57.4%	67.8%	
出所：英自動車工業会（SMMT）			

<AI21747>

企業情報

■自動車メーカー■

ステランティスが DS にチャット GPT を標準装備、日本含む 18 カ国で

欧州自動車大手のステランティスは2月20日、傘下の高級車ブランドである DS オートモビルが車載インフォテインメント「DS IRIS システム」に対話型生成 AI「チャット GPT」の機能を採用すると発表した。昨年秋からの試験導入の成功を踏まえたもの。自動車メーカー各社がチャット GPT の導入を計画する中、DS はいち早く3月から IRIS を搭載するすべての車両で同機能を利用できるようにする。

チャット GPT は IRIS の音声認識システムと組み合わせることでインフォテインメントやナビゲーション、エアコンなどの音声操作のほか、複雑な質問に回答するなど、ドライバーとの直感的な対話ができるようになる。訪れた場所などでチャット GPT に質問することで気になることや現地の観光情報などを得ることができる。

チャット GPT の導入試験は「DS 3」、「DS 4」、「DS 7」、「DS 9」の全モデルで実施し、ドイツ、フランス、英国、スペイン、イタリアの5カ国の言語で利用できるようにした。その結果、IRIS の音声認識機能を利用するドライバーが50%以上増えたという。3月からの標準装備は、上記5カ国を含む欧州17カ国に日本を加えた18カ国となり、13の言語に対応する。

<AI21748>

プジョー、チャット GPT 導入試験のドライバーを1万人に拡大

欧州自動車大手のステランティス傘下の仏プジョーは2月21日、対話型生成 AI「チャット GPT」の試験導入を拡大すると発表した。同試験の好評を受けたもので、コックピットシステム「i-Cockpit」を搭載する車両のドライバーを新たに5,000人追加し、計1万人が6か月無料でチャット GPT を利用できるようにする。

チャット GPT は i-Cockpit のインフォテインメント機能に統合されている。ドライバーは同機能の音声認識に「OK Peugeot」と呼びかけて起動し、ナビゲーションなどの音声操作や様々な質問、同乗する子供を退屈させない仕掛けなどあらゆるテーマをリクエストできる。

対象となるのは、新型「208」と「2008」、「308」、「308 SW」、「408」、新型「508」と「508 SW」、新型「E-3008」と「E-5008」、新型「E-リフター」、新型「E-トラベラー」、新型「E-パートナー」、新型「E-エキスパート」の各モデル。プジョーは導入試験の結果を踏まえ、対象モデルすべてにチャット GPT を標準装備する方針だ。

<AI21749>

ダイムラー、メルセデスベンツの接続バス「e シタロ・G フューエルセル」を業界会議に出展

独自動車大手のダイムラー・トラックのバス部門ダイムラー・バスズは、3月5～7日にベルリンで開催される公共交通機関の業界団体VDV（ドイツ運輸企業連盟）の業界会議・見本市「mobility move 2024」に、メルセデスベンツの接続バス「e シタロ・G フューエルセル」を出展する。

当該モデルは、3カ所のドアがある電気・接続バスで、燃料電池をレンジエクステンダー（航続距離延長装置）として搭載している。高性能のバッテリーと燃料電池の組み合わせにより、約400kmを走行することができる。

3元系(NMC)のリチウムイオン電池のバッテリーパックを4つ(容量：392kWh、※バッテリーパック3つも選択可能)、60kWの燃料電池を搭載しており、ルーフ部分に水素タンク6本(容量：各5kg、水素タンク7本も選択可能)を配置している。

<AI21750>

■部品メーカー■

ミシュランなど、スウェーデンに使用済みタイヤのリサイクル工場建設

仏タイヤ大手のミシュランなどが出資する合弁会社がこのほど、スウェーデンのウッデバラで使用済みタイヤのリサイクル工場の建設を開始した。同工場は、年約3万5,000トンの使用済みタイヤをリサイクルする能力を持つ。2025年に稼働する予定。従業員数は約40人を予定している。

この合弁会社は、インフラ投資に重点を置くフランスの独立系プライベートエクイティ会社アンティン・インフラストラクチャー・パートナーズ（以下、アンティン）とスウェーデンのリサイクル会社スカンジナビア・エンバイロ・システムズ（以下、エンバイロ）が2023年に設立した。大株主はアンティンで、ミシュランは小数株主として参加している。エンバイロは出資比率を引き上げる（重要少数株主となる）オプション権を持つ。

同合弁は、欧州全域に廃タイヤのリサイクル工場を建設する計画で、2030年までに合計のリサイクル能力を年100万トンに拡大する目標を持つ。欧州では現在、年約350万トンのタイヤが廃棄されている。

ミシュランはリサイクル工場に使用済みタイヤを提供し、廃タイヤから回収したカーボンブラックと熱分解油の供給を受ける複数年の相互供給契約を締結している。エンバイロは、使用済みタイヤからカーボンブラックや熱分解油などの良質な原材料を抽出する特許技術を保有する。

<AI21751>

独シェフラー、米国に新工場を建設

独自動車部品大手のシェフラーは2月26日、2032年までに2億3,000万米ドル超を投資して、オハイオ州のドーバーに新工場を建設するほか、オハイオ州のウースターにある既存工場を拡張すると発表した。これにより650人の新規雇用が創出される予定。当該プロジェクトは、オハイオ州と経済開発公社ジョブスオハイオが資金支援している。今回の投資は、シェフラーのアメリカ地域におけるイノベーションと成長を強化する取り組みの一環に位置づけられる。

新工場は2024年半ばに着工し、2025年第3四半期に完成する予定。同工場では、乗用車・小型商用車向けの電動アクスルなど電動車用の部品やシステムを生産する予定。新工場の面積は1万2,000平方メートル。従業員数は、2032年までに約450人となる予定。

ウースター工場ではトランスミッションシステムを生産している。シェフラーは先ごろ、長期投資計画の一環として、ウースター工場の面積を8,000平方メートルに拡張し、電気モーターや電気駆動システムの部品を生産することを決定した。

シェフラーはさらに、オハイオ州立大学（OSU）との協力関係を強化し、2025年にバッテリーセルの研究開発センターを開設する予定。

<AI21752>

蘭ヒア、港湾運営最大手 PSA に位置情報サービスを提供

蘭デジタル地図大手のヒア・テクノロジーズは2月20日、シンガポール港湾局（PSA）が開発したクラウドベースのトラック輸送管理システム「OptETruck」に位置情報サービスを提供していると発表した。同システムはヒアの「ツアープランニング・アンド・ロケーションサービス」を活用し、トラックドライバーの現在位置に基づいて作業を割り当てることで効率を最大化するもの。PSAは年末までにコンテナトラックの50%以上に同システムを搭載することを目指している。

OptETruckはトラックの走行経路と配車繰りを最適化することで、空車率を下げるとともに、ドライバーの無駄な移動を減らす。これにより二酸化炭素（CO2）排出量を削減しながら移動時間と待機時間を減らし、ドライバーの作業効率と健康状態を向上させる。

同システムの導入企業ではトラックの空車率を約50%以上改善している。これは年約1,000万キログラムのCO2排出削減量に相当する。

PSAは港湾運営の世界最大手。世界600以上の港と結ばれており、2023年は約3,880万個（20Ft換算）のコンテナを取扱っている。

<AI21753>

経済活動に大きく影響する
EUの政策動向をお伝えしています



欧州経済ウォッチャーを読んで
今のEUを知ろう

FBC

SSAB とフィンランドの VR、重量物輸送に大型電気トラックを導入

スウェーデン鉄鋼大手の SSAB は 2 月 21 日、フィンランドの鉄道グループ VR の物流事業部門、VR トランスポイントと、重量物輸送業務を電動化するプロジェクトを共同で実施すると発表した。大型輸送車両の電動化を進め、道路輸送の低排出化を実現するのが目的。VR トランスポイントは SSAB の鉄鋼製品の輸送にスカニアの大型電気トラック「eマンモス」2 台を調達し、SSAB はヘルシンキ北郊のハメーンリンナ工場に大型車両用の充電設備を設置する。

eマンモスは全長 20 メートル、総重量 64 トンで、最大積載量は 43 トン。ハメーンリンナ工場から半径 100 キロメートル以内の顧客への配送に使われる。国内の定期輸送に使われるトラックとしては最大級だ。電気モーターのため騒音が少ない。年末にかけて運行を開始する予定。

同プロジェクトはフィンランド運輸通信庁の支援を受ける。プロジェクトを通して収集されたデータは、タンペレ大学と VTT 技術研究センターによる重量物運搬車両の電動化と排出量削減に向けた研究事業に活用される。

<AI21754>

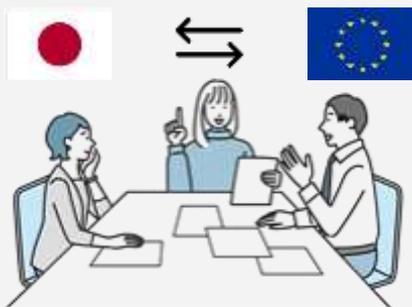
スペインのアントリン、データ利用の研究事業「ESPADIN」に参加

スペインの自動車内装部品大手グループ・アントリンは 2 月 20 日、産業用データの利用空間整備に向けた研究プロジェクト、「ESPADIN (ESPacios de Datos para la INdustria)」に参加すると発表した。インダストリー 4.0 (I4.0) の導入促進に向け、データの品質、可用性、信頼性という 3 つの柱で研究する。

プロジェクトはスペイン政府の産業技術開発センター (CDTI) の科学・イノベーションプログラムの一環として実施する。期間は 28 カ月。予算は総額 437 万ユーロで、「次世代の欧州連合 (EU) 基金」などから 262 万ユーロの助成を受ける。事実上の業界基準である欧州クラウド「ガイア X」のガイドラインに準拠する。

ESPADIN にはアントリンのほか、石油大手のレプソル、建設大手 FCC などが参加する。それぞれの企業は、◇自動車用プラスチック部品の製造 (アントリン) ◇グリーン水素のトレーサビリティ (レプソル) ◇産業プロセスの監視 (FCC) を通じてプロジェクトの適用性を実証する。

<AI21755>



駐在員事務所代行サービス

欧州に事務所がなくても、
FBCが新規取引先の開拓や連絡、
貿易事務を代行します



GENESIS

電動航空機システムの環境持続可能性を評価する欧州プロジェクト。従来型の内燃機関航空機から持続可能で競争力のある電動航空機への移行に向けた技術ロードマップの提示を目的としている。50人乗りのリージョナル航空機に焦点を当て、電気（バッテリー）、燃料電池、ハイブリッド式の航空機の将来シナリオの作成に取り組んだ。

その際、地上インフラも含めた各構成要素のライフサイクル全体を考慮し、環境的、経済的、技術的な観点から、短期（2025～2035年）、中期（2035～2045年）、長期（2045～2050年以降）の時間的視点で分析を実施した。

プロジェクトの実施期間は2021年2月1日～2023年7月31日まで。デンマーク、イタリア、オランダ、ドイツ、スイス、フランスの欧州6カ国の9パートナー（5大学と企業4社）と協力パートナーとしてロッテルダム・ザ・ハーグ・イノベーション空港（RHIA）が参加している。

また、欧州委員会は、プログラム「クリーンスカイ2」の枠組みを通して、当該プロジェクトに資金支援した。

プロジェクトパートナーは下記の通り：

- デンマーク工科大学（デンマーク）（調整役）
- フェデリコ2世・ナポリ大学（イタリア）
- デルフト工科大学（オランダ）
- フリードリヒ・アレクサンダー大学エアランゲン・ニュルンベルク（ドイツ）
- ベルン応用科学大学（スイス）
- SMARTUP Engineering s.r.l.（イタリア）
- Mahytec（フランス）
- Accurec Recycling GmbH（ドイツ）
- Proton Motor Fuel Cell GmbH（ドイツ）
- ロッテルダム・ザ・ハーグ・イノベーション空港（RHIA）（協力パートナー）

欧州自動車短信

■ 独電動商用車メーカーのクアントロンは2月21日、ミュンヘンに拠点を置くハイジェノックス(Hygenox)とグリーン水素分野での協力について趣意書(LOI)を締結したと発表した。ハイジェノックスは、分散型の水素生成プラントのネットワークを構築し、顧客にグリーン水素を供給するなど、産業顧客の持続可能なエネルギーへの転換を支援するサービスを提供している。クアントロンはハイジェノックスに燃料電池車を最大8台、供給する予定。具体的には、2025 / 26年にトランスポーター「QLI FCEV」と大型トラック「QHM FCEV」を最大8台、供給する。これらの車両は、独自動車大手オペルのリュッセルスハイム工場で計画されている100MWの水素プロジェクトに投入される予定。

■ 英国(北アイルランド)のバスメーカー、ライトバスは2月26日、ドイツ西部のザールブリュッケンの公共交通事業者であるザールバーンが実施した入札に参加し、燃料電池バス28台を受注したと発表した。1階建ての燃料電池バス「Kite Hydroliner」を28台、供給する。うち、最初の5台は年内に納車する予定。ザールバーンに供給する燃料電池バスは、北アイルランドのバリーミーナにある本社工場で生産する。ザールバーンは、燃料電池バスの調達と並行し、バス車庫に水素充填ステーションも整備する計画。

■ 英船級協会ロイズ・レジスターはこのほど、エストニア国営海運に水素燃料電池フェリーの基本設計承認(AiP)を付与したと発表した。この旅客船は、フィンランドの船舶設計・エンジニアリング会社デルタマリンが設計した。エストニア本土とサーレマー島およびヒューマー島を結ぶルートを運行する予定。基本設計承認(AiP)では、現段階の設計プロセスが、今後の設計、建造、調達に適切であることなどが確認された。

<AI21756>

ドイツ語での 情報収集・検索でお困りではありませんか？

FBCの「インフォメーション・ブローカーサービス」は、クライアントが必要とする情報迅速に探し出す情報検索サービスです。私たちは長年の調査業務ノウハウを活用して広範囲な情報検索を提供しています。



プレスリリース



情報検索



問合せや訪問予約の
アレンジメント

検索料金は250ユーロ+VATから

お問い合わせ: FBCカスタマーサポート +49-(0)69-5480950 info@fbc.de

一般・その他

フォンデアライエン欧州委員長、続投の意向を表明

ドイツのキリスト教民主同盟 (CDU) は 2 月 19 日、同党所属のフォンデアライエン欧州委員会委員長を 6 月の欧州議会選挙後に選出される次期委員長の候補に指名した。これを受けてフォンデアライエン氏は続投の意向を表明。2 期目に向けて立候補することが決まった。

欧州委員会の委員長は、欧州議会の最大会派の候補を EU 加盟国が承認して決まるのが慣例。CDU が属する欧州人民党 (EPP) は、6 月の選挙で最大会派の地位を維持するのが確実な見通しとなっており、フォンデアライエン氏は続投の可能性が濃厚だ。EPP は 3 月に同氏を次期欧州委の候補に指名する見込み。

フォンデアライエン氏は史上初の女性の欧州委員長。2019 年 12 月に就任した。1 期目の任期は 10 月末。

同氏は 1 期目に、EU が 50 年までに欧州が世界に先駆けて気候中立を実現することを目指す戦略「欧州グリーンディール」の策定や、新型コロナウイルス感染拡大への対応を主導。ロシアのウクライナ軍事侵攻では、一貫してウクライナを支援してきた。

フォンデアライエン氏は続投表明後、環境問題などについて 2 期目も既存の政策を継続、強化することや、ロシアの脅威に対抗するため EU の防衛力を強化していく方針を示した。

2 期目もロシアのウクライナ侵攻への対応が大きな課題となる。米国の大統領選でトランプ氏が勝利した場合の対応も重要だ。安全保障では欧州委に防衛担当委員のポストを新設する方針だ。

<AI21757>

Information Broker Service

私たちは情報を迅速に探し出すスペシャリストです

FBCでは長年の調査業務ノウハウを活用して
広範囲な情報検索サービスを提供しています



プレスリリース

特定テーマに関する各界の評価
政府の統計データ・公式見解など



情報検索

官報・広報・特許・学術文献
調査レポート・書籍など



問合せや訪問予約の アレンジメント

産業団体・関係当局・専門家
各所への問い合わせなど

検索料金は**250**ユーロ+VATから

お問い合わせはFBCカスタマーサポート +49-(0)69-5480950 info@fbc.de まで

EU がロシアへの追加制裁決定、中国企業なども対象に

欧州連合（EU）加盟国は2月19日23日、ウクライナへの軍事侵攻を続けるロシアに対する追加制裁で合意した。ロシアに武器を供給する中国などの企業も制裁対象に含まれる。

対ロシア制裁は第13弾。新たに194団体・個人が対象となる。ロシアの軍産複合体に関連する団体・個人と、ウクライナの子どもの連れ去りに関与した団体・個人。EUへの渡航や域内でのビジネスを禁止する。

今回の制裁ではロシアによるドローンなど武器の調達に協力したとして、ロシアの17社、中国本土の4社、インドとカザフスタン、セルビア、タイ、スリランカ、トルコの各1社が制裁を受けた。これらの27企業は今後、EUへの輸出が制限される。

<AI21758>

EU のマネロン対策庁、フランクフルトに設置

欧州委員会は2月22日、欧州連合（EU）が新設する「マネーロンダリングおよびテロ資金供与対策庁（AMLA）」をドイツのフランクフルトに設置することが決まったと発表した。

AMLAは資金洗浄やテロ資金供与などの組織犯罪にEUレベルで対処するため設置が決まった新機関。域内の金融機関を直接監督する権限を持つ。EUには資金洗浄やテロ資金対策を管轄する機関がなく、各国当局が個別に対応していることから、欧州委が2021年に設置を発表した。2年半ばに始動の予定だ。

AMLAの誘致には、フランクフルトのほかブリュッセル、ダブリン、マドリード、パリ、ローマ、ウィーン、ラトビアのリガ、リトアニアのビリニュスが名乗りを上げていた。

加盟国と欧州議会の代表による投票でフランクフルトが最多票を集め、設置が決まった。

<AI21759>

必要な情報を収集します

30年間で培った「600件以上の調査実績」

各種調査はFBCにお任せください





テクノロジー・トレンド

技術大国ドイツを中心に
注目の技術情報を集めています。

スイスのプロジェクト「H2Uri」、ルツェルン湖で水素を燃料とする旅客船を運行

スイスのエネルギー会社 Axpo は、同国のUri州の自治体ビュルグレンに水素生成プラントを建設するプロジェクト「H2Uri」に参加している。当該プロジェクトでは、ルツェルン湖の船舶運航会社 SGV が将来的に、当該プラントで生成した水素を燃料とする旅客船を運行する計画。さらに水素供給ステーションを建設する計画もある。当該プロジェクトには、Axpo、SGV のほか、エネルギー会社の EWA-energieUri、ガソリンスタンドを運営する AVIA Schaetzle も参加している。

この水素生成プラント（2MW）は、EWA-energieUri の水力発電所ですすでに建設を開始しており、2025 年から水素を生成できる予定。年最大 260 トンのグリーン水素を生成することができる。

ルツェルンの造船所 Shintech が、SGV が保有する船舶「MS Saphir」の改造や認可取得を担当する。2025 年秋から「MS Saphir」に燃料電池システムを組み込む作業を開始する予定。

当該プロジェクトは、スイス連邦交通省（BAV）が支援している。



SGV が保有する船舶「MS Saphir」

出所：Axpo

<AI21760>

— 競業企業の動向を定期的にウォッチします —

キーワードに沿って情報を「**クリッピング**」し

日本語に抄訳してご提供します

料金は月々1,000~3,000ユーロから



独オスナブリュック、燃料電池を搭載した廃棄物収集車を試験導入

独北西部のオスナブリュックの廃棄物収集事業者 AWIGO は、燃料電池を搭載した廃棄物収集車を試験導入する。メンテナンに携わる従業員やスヤドライバーに研修を実施した後、3月から試験導入する予定。

AWIGO が導入するのは3車軸のトラック(リヤローダーゴミ収集車)で、調達コストは約85万ユーロ。うち、約56万5,000ユーロをドイツ連邦デジタル・交通省が水素・燃料電池技術に関する国家技術革新プログラム(NIP)の枠組みを通して助成している。

AWIGO はトラック69台を保有しており、年約3700kmを走行している。これは地球を約92周する距離であり、長期的に保有車両の気候中立を達成し、地域の住民への環境負荷を低減する目標を掲げる。

なお、同地域には水素供給ステーションが1カ所しかないため、まずは、日常業務でどのような利用が可能かを見極める方針。2024年末まで試験的な導入にとどまり、早ければ2025年に定期業務に導入する予定。

また、現在、水素ステーションで充填できるのは、天然ガスや石炭などの化石燃料を利用して作られるグレー水素であるため、将来的なグリーン水素への切り替えも課題となる。

<AI21761>

■企業名索引

今週号のニュースで取り上げられた主な企業を対象としています。

Index

企業名	掲載頁	
Antin Infrastructure Partners....	6	QUANTRON..... 10
Antolin	8	Scandinavian Enviro Systems ..6
Daimler Truck.....	6	Schaeffler..... 7
Here.....	7	SSAB..... 8
Lloyd's Register	10	Stellantis
Michelin	6	Wrightbus
Peugeot	5	

目で見える欧州自動車産業ニュース

ギリシャ新車登録台数：2023年

乗用車		
2023年1-12月		
メーカー(ブランド)	台数	市場シェア
トヨタ	16,400	12.2%
オペル	10,384	7.7%
プジョー	10,195	7.6%
現代	9,877	7.3%
シトロエン/DS	9,753	7.3%
フォルクスワーゲン	8,384	6.2%
スズキ	7,606	5.7%
起亜	6,363	4.7%
BMW	6,201	4.6%
フィアット	5,840	4.3%
ルノー	4,727	3.5%
フォード	4,523	3.4%
メルセデスベンツ	4,243	3.2%
アウディ	4,120	3.1%
ダチア	3,587	2.7%
シュコダ	3,223	2.4%
日産	3,091	2.3%
ボルボ	2,388	1.8%
MINI	2,326	1.7%
ジープ	1,921	1.4%
テスラ	1,841	1.4%
セアト	1,797	1.3%
マツダ	1,387	1.0%
クブラ	1,148	0.9%
ランドローバー	784	0.6%
MG	730	0.5%
アルファロメオ	380	0.3%
レクサス	286	0.2%
ホンダ	235	0.2%
ボルシェ	234	0.2%
ジャガー	156	0.1%
スバル	102	0.1%
スマート	77	0.1%
三菱自動車	56	0.0%
マセラティ	47	0.0%
アバルト	46	0.0%
LEVC	4	0.0%
BYD	4	0.0%
ベントレー	4	0.0%
フェラーリ	3	0.0%
賽力ス(Seres)	2	0.0%
ロータス	2	0.0%
ランチア	1	0.0%
零跑汽車(Leap Motor)	1	0.0%
Esagono Energia	1	0.0%
知豆(ZHIDOU)	1	0.0%
ショツソン(Chausson)	1	0.0%
ロールスロイス	1	0.0%
上汽大通(SAIC Maxus)	1	0.0%
2023年1-12月 合計	134,484	
2022年1-12月 合計	105,283	
前年同期比伸び率	27.7%	

出所：ギリシャ自動車輸入業者連盟(AMVIR)

小型商用車 (<3501Kg)		
2023年1-12月		
メーカー(ブランド)	台数	市場シェア
トヨタ	2,068	20.4%
フォード	1,939	19.1%
プジョー	1,611	15.9%
フィアット	1,079	10.6%
シトロエン/DS	753	7.4%
オペル	659	6.5%
フォルクスワーゲン	494	4.9%
いすゞ	347	3.4%
ルノー	342	3.4%
スズキ	265	2.6%
メルセデスベンツ	196	1.9%
日産	136	1.3%
ジープ	63	0.6%
BYD	55	0.5%
ピアaggio	37	0.4%
上汽大通(SAIC Maxus)	32	0.3%
イベコ	20	0.2%
三菱自動車	16	0.2%
ゲーピル(Goupil)	13	0.1%
セントロ(Cenntro)	7	0.1%
ランドローバー	4	0.0%
ダチア	3	0.0%
LEVC	3	0.0%
ガリア(GARIA)	1	0.0%
アダックス・モーターズ(Addax Motors)	1	0.0%
2023年1-12月 合計	10,144	
2022年1-12月 合計	9,664	
前年同期比伸び率	5.0%	

出所: ギリシャ自動車輸入業者連盟(AMVIR)

<AI21762>